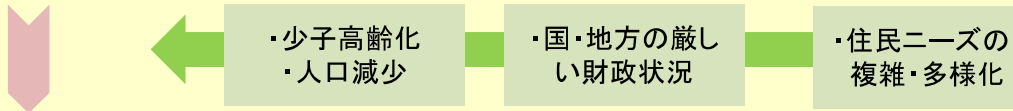


共生・協働の地域社会づくり

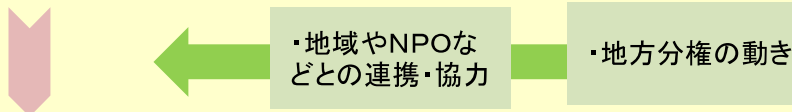
～公共サービスの新しい仕組みづくり～

背景(行政)

- これまでは公共サービスのほとんどを行政が提供



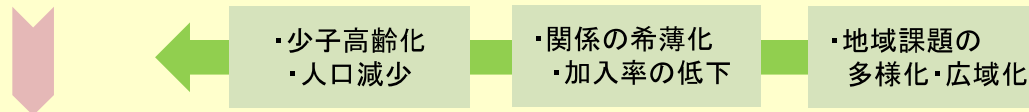
- 全てを行政だけで提供するのは限界に



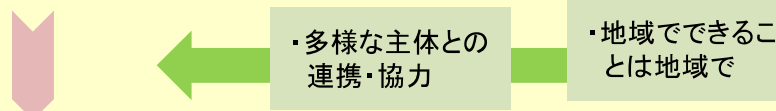
- 地域に必要なサービスを協働で提供する仕組みが必要

背景(地域)

- これまでの地域活動は地縁組織である自治会・町内会が中心となっていて行ってきた



- 自治会・町内会だけでは、従来の役割を果たすことが困難な地域が出てきている



- 弱くなった地域の力の再生が必要

共生・協働の地域社会づくり

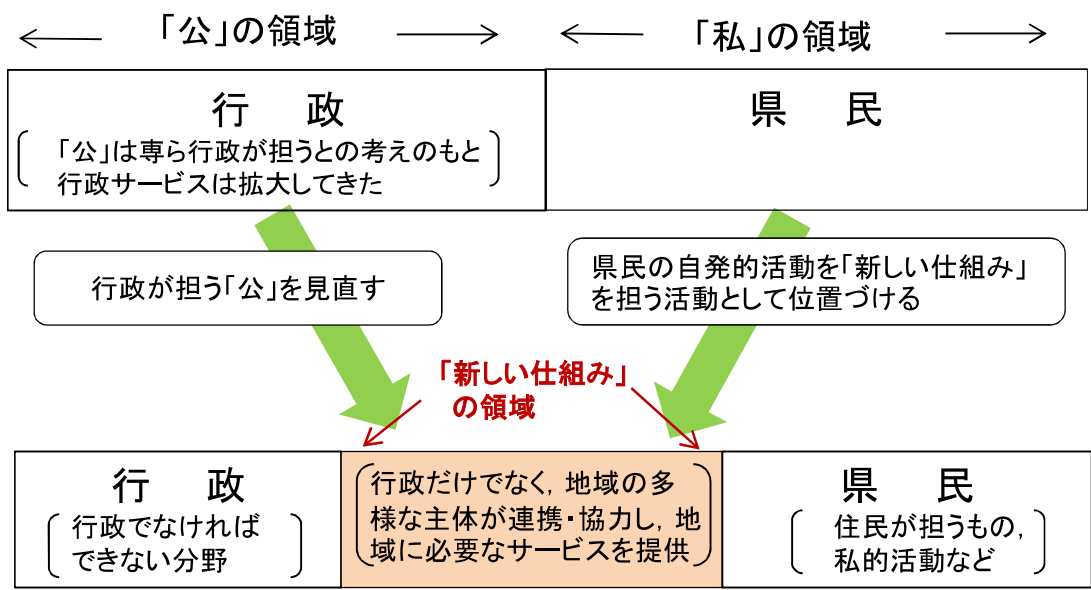
行政のアプローチ

- 行政の協働化の推進
 - 地域に必要なサービスを提供するため、行政だけでサービスを行うのではなく、地域コミュニティやNPOなど地域の多様な主体との協働を推進する。

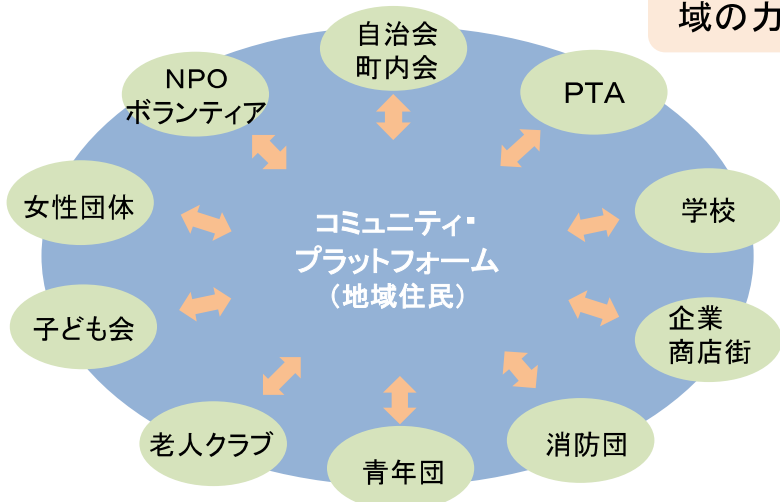
地域の取組

- 地域コミュニティの再構築
 - 地域課題に協働で取り組むため、自治会やNPO、企業、老人クラブなどの多様な主体が連携・協力して地域課題の解決に取り組む基盤づくりを促進する。

地域に必要なサービスを提供する新しい仕組みのイメージ



コミュニティ・プラットフォーム



コミュニティ・プラットフォームは、地域の力を結集する仕組み

・主に小学校区などの範囲において、自治会・町内会・NPO・企業・青年団など多様な主体が協働して、地域課題の解決等に取り組んでいくための基盤

共生・協働の地域社会づくりとは

- ・ 公共サービスの新しい仕組みづくり
 - 地域で役割を分担し、できることは自分たちでやる。
 - 地域社会の総力で公共的課題解決へ。